

「消防防災科学技術研究推進制度」における 平成19年度研究開発課題の募集

消防技術政策室

消防庁では、平成19年度における消防防災科学技術研究推進制度に係る研究開発課題の募集を以下のとおり行うこととしましたのでお知らせします。

1. 制度の概要

「消防防災科学技術研究推進制度」は、消防防災科学技術の振興を図り、安心・安全に暮らせる社会の実現に資する研究を、提案公募の形式により、産学官において研究活動に携わる者等から幅広く募り、優秀な提案に対して研究費を助成し、産学官の連携を推進するとともに革新的かつ実用的な技術へ育成するための競争的研究資金制度です。

2. 今回募集対象となる課題

この制度は、消防防災が直面する課題解決を図るために、産学官各方面で埋もれている技術シーズを発掘・育成し、成果の社会・経済への還元を推進することを目的としています。したがって、技術開発に関する研究の内容が、我が国の直面する消防防災に係る課題の解決にとって、実用的な意義が大きいものであり、かつ、消防防災への波及効果が具体的に想定される、科学技術(自然科学及び人文・社会科学)に関する基礎的研究・応用研究・開発研究を公募の対象として、大きく次の3つのテーマに分けています。

(1) 現場対応ニーズ対応型研究開発

火災等の災害に対する消防防災活動や予防業務等における消防機関等のニーズを反映した、特に緊急性や迅速性が求められる課題に関する研究開発(消防機関が積極的に研究開発に関与し、1～2年で災害現場等の活動に配備可能なレベルに到達が見込まれる研究開発)

(2) テーマ設定型

あらかじめ設定した消防防災活動に資する研究開発テーマ(資機材等の開発に関するもの及び手法(システム、機材)の開発に関するもの)に関する研究開発

- ① 従来より長時間(*)連続使用可能で、重量は現在と同程度(*)の呼吸器具の開発

- ② 機械としての性能は維持しつつ、軽量化(*)を図った救助資機材の開発
- ③ 消防隊員が安全に活動できるために、一定量の放射線(*)を浴びた場合にそれが判断できる(変色、発光等)防護服等の開発
- ④ 従来の泡消火薬剤に比べ、形状安定性(*)を有する消火又は延焼拡大防止の薬剤等の開発
- ⑤ 従来と同程度の大きさで性能が大幅に改善された(*)高速切断器具の開発
- ⑥ 可燃性蒸気が存在する雰囲気下で使用可能な高速切断器具(*)の開発
- ⑦ 従来と同程度の大きさ(*)で性能が大幅に改善された(*)ジャッキ(類する器具を含む)の開発
- ⑧ 従来と同程度の大きさ(*)で性能が大幅に改善された(*)スプレッダー(類する器具を含む)の開発
- ⑨ 震災時等に建築物等の倒壊現場のガレキ下深く(*)に埋まった生存者の有無及びその位置を迅速に特定するための手法の開発

(注) (*)は具体的な開発目標を明示すること。

(3) 消防防災分野全般を対象とする研究開発

上記(1)及び(2)以外の研究課題

3. 募集期間

平成18年12月1日(金)～平成19年1月31日(水)

4. 問い合わせ先

総務省消防庁消防技術政策室(消防研究センター内)
電 話：0422(44)8331 (代表)

5. 公募要領等

公募要領等は、以下のURLからダウンロードしてください。

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4_2.html